

1	組 織 名 称 (略 称)	ITS情報通信システム推進会議 ITS Info-communications Forum (ITS Forum) http://www.itsforum.gr.jp/						
2	分 類	活動目的	◎	仕様策定	－	実装・検証	オープン ソース	該当なし
			－	試験・認証	○	普及・啓発		
			－	その他()				
	対象技術分野	③通信技術(近距離無線: WBAN、WPAN、WLAN 関連)			対象サービス		④サービス(コネクテッドカー関連)	
	技 術 M A P	活動エリア	④モバイル系領域の活動を主に固定領域の活動も実施			活動領域		⑦APL(アプリケーション)領域の活動を実施
3	目 的	ITS情報通信システム推進会議は、ITS情報通信システムの早期実現を図るため、ITS情報通信システムに関する研究開発及び標準化の調査研究、関係機関との連絡調整、情報の収集、普及啓発活動等を行い、もって電波利用の健全な発展に寄与することを目的とする。 その目的を達するために以下の事業を行う。 (1)ITS情報通信システムに関する研究開発及び標準化の調査研究 (2)ITS情報通信システムに関する情報の収集、交換及び提供 (3)ITS情報通信システムに関する関係機関との連絡調整 (4)ITS情報通信システムに関する普及啓発 (5)その他本会の目的を達するために必要な事業						
4	組 織 構 成	・総会、運営委員会、企画部会、事務局という体制。 ・企画部会 ITS情報通信システムに関する標準化・研究開発の推進、国内外の関連機関との情報交換、標準化動向の調査および普及啓発活動を行なっている。この配下に専門委員会・WG・TG を置く体制で活動。 ・技術企画委員会(基盤技術と国際標準化に関する専門委員会・WGを横断した検討) ・高度化専門委員会(次世代ITSに有効な方式・メディアの検討、自動運転システム通信仕様の検討。配下に、次期システム企画TG、無線方式検討TG、放送システムTG、セルラー応用TGがある。) ・国際対応専門委員会(ITS通信技術・システムに関する国際協調活動および情報収集。配下にVSC TGがある。) ・700MHz帯ITS実用化専門委員会(700MHz帯ITS実用化に向けた運用支援、標準化推進、相互接続の検討。配下に、運用支援TG、標準化推進TG、相互接続TG、路路間通信システム検討TG、車車間通信システム推進TGがある。) ・5GHz帯路車間通信検討WG(DSRC関連規格の維持・改訂と国際対応支援) ・DSRCプラットフォームWG(狭域・広域通信メディア対応DSRCプラットフォームの規格検討と関連規格の維持・改訂、普及啓発) ・ミリ波WG(79GHz帯高分解能レーダーの国際協調対応と実用化に向けた普及啓発。ミリ波の応用に関する情報収集) ・広報WG(ITS情報通信システム推進会議活動の普及啓発) 体制表: http://www.itsforum.gr.jp/Public/J1Purpose/P03/P03.html						
5	参 加 資 格 費	一般会員: 法人又は団体 年会費 10万円 個人会員: 学識経験者等の個人(運営委員会の承認が必要)						

		年会費 無料 顧問：会長が学識経験者等のうちから委嘱 特別会員： 当会の事業を行うため、会長が特に必要と認めたもの 年会費 不明	
6	主 要 メ ン バ (2018年08月現在) (注1)	メンバ数: 105 1999年7月に当時の関連5省庁(郵政省, 警察庁, 通商産業省, 運輸省, 建設省)と主な電気通信事業者, 自動車メーカー, 機器メーカーが集まって発足しており、ボードメンバーの記述は公開されている情報には含まれない。 一般会員: 77 個人会員: 6 顧問: 1 特別会員: 21 日系会員は92メンバー https://itsforum.gr.jp/Public/J4Links/Top.html	
7	他 団 体 ・ 組 織 と の 関 係	ITS国内外団体との情報交換・事業協力: ・ITS America、ITS Japan など	
8	T T C 活 動 と の 関 連 性 (注2)	TTCの専門委員会活動との関係(☑関係あり、☐関係なし) 関係する場合の専門委員会名(右欄より選択) 理由:	コネクテッド・カー
9	活 動 状 況	最新のトピックス ・2018/6/25 2018年度総会を開催 ・2018/4/12 第39回企画部会を開催 第21回運営委員会(案)および2018年度総会(案)とその他の議論について報告と、これを受けた意見交換を実施 ・2018/3/30 セルラー応用TG 2017年度講演会「第2回LTE/5Gを活用したコネクテッド・ビークル・ワークショップ」を開催 ・2018/3/14 「700MHz帯高度道路交通システム関連ガイドライン(英語翻訳版)」を発行 RC-013 実験用車車間通信メッセージガイドライン 1.1版 RC-012 実験用路路間通信ガイドライン 1.1版 RC-011 陸上移動局の相互接続性確認試験ガイドライン 1.2版 RC-010 拡張機能ガイドライン 1.1版 ・2018/3/5 第38回企画部会を開催 専門委員会・WGの活動概要報告(2017年度活動状況/2018年度活動計画)および今後のスケジュール、2017年度予算の執行状況、2017年度VSCセミナーアンケート結果等その他の議論について報告と、これを受けた意見交換を実施 ・2017/12/15 2017年度VSC関連国際会議結果報告会を開催 ・2017/11/20 セルラー応用TG 2017年度講演会「LTE/5Gを活用したConnected Carワークショップ」を開催 ・2017/10/12 第37回企画部会を開催 専門委員会・WGの活動概要報告(上期活動状況/下期活動計画)および2017 TAICS International Standard Forum概要、ITS AP Forum福岡への参加、2017年度予算執行状況、2017年度VSCセミナープログラム等その他の議題について報告と、これを受けた意見交換 ・2017/10/2 「700MHz帯高度道路交通システム関連ガイドライン」を発行 実験用車車間通信メッセージガイドライン 1.1版 実験用路路間通信ガイドライン 1.1版 陸上移動局の相互接続性確認試験ガイドライン 1.2版 拡張機能ガイドライン 1.1版	

		・2017/9/19「ITSアプリケーションサブレイヤ仕様ガイドライン 1.0版(英語版)」を 発行 http://www.itsforum.gr.jp/index.html		
10	設 立 時 期	1999 年 7 月		
11	本 部 所 在 地	ITS情報通信システム推進会議事務局 〒100-0013東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F 一般社団法人電波産業会内 TEL:03-5510-8662 FAX:03-3592-1103 E-mail: its@arib.or.jp		
12	関 連 標 準 化 技 術	ITS(Intelligent Transport Systems:高度道路交通システム)に関連する、DSRC (狭域通信)、700MHz帯高度道路交通システムなどの各種ガイドラインを開発して おり、以下よりダウンロード可能である。 http://www.itsforum.gr.jp/Public/guideline/index.html		
13	権 利 関 係 (I P R P o l i c y , B y l a w s な ど)	IPR Policy 公表されていない Bylaws https://itsforum.gr.jp/Public/J1Purpose/P02/P02.html (規約)		
14	備 考 (普 及 状 況 な ど)			
15	更 新 履 歴	2018年7月27日	初版作成	担当: 鬼頭(KDDI)
		2018年8月28日	更新	メンバー数、日系メンバー数の更新
		2018年9月14日	更新	活動領域の変更

(注1) 日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注2)「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。